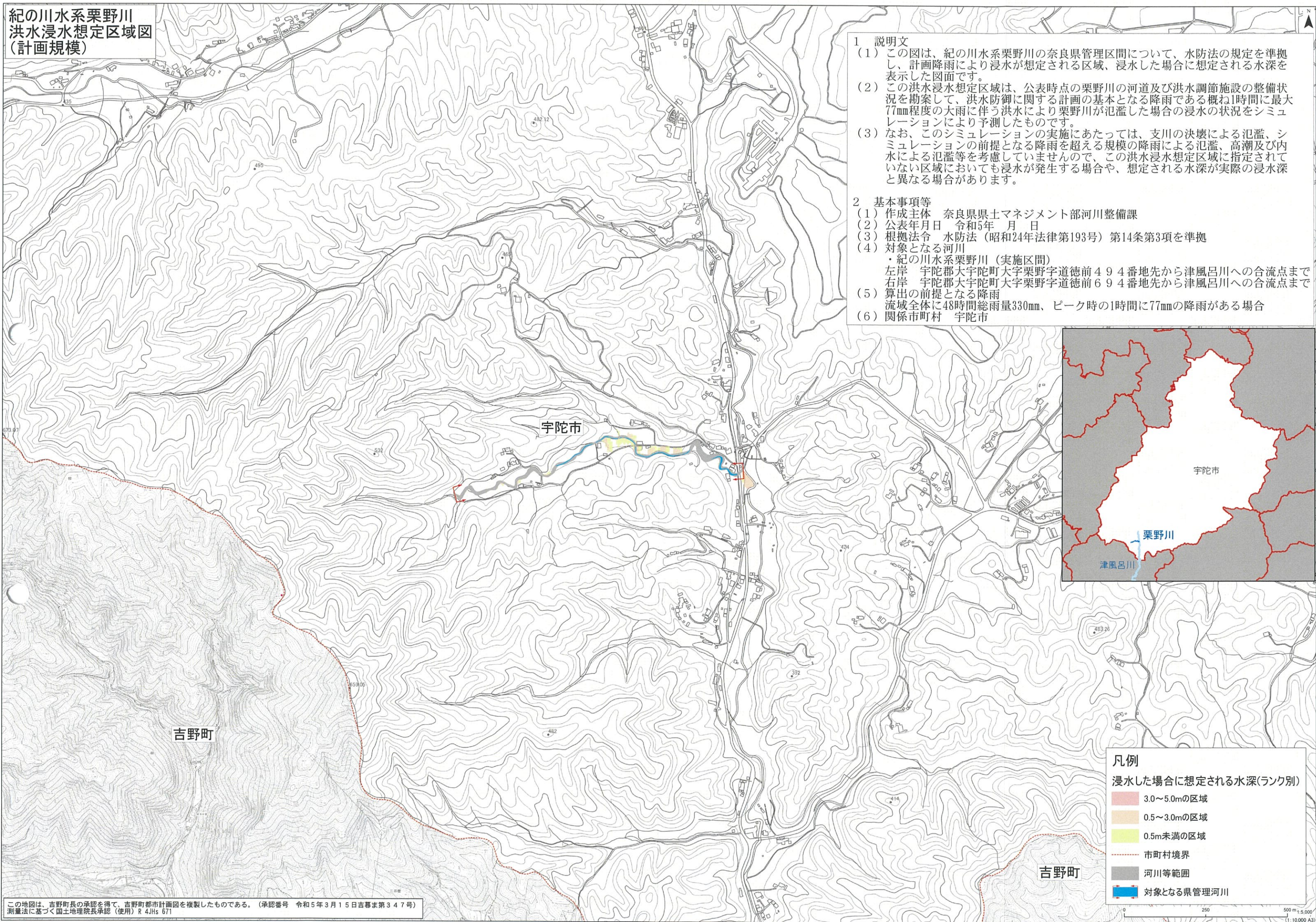


紀の川水系栗野川
洪水浸水想定区域図
(計画規模)



1 説明文

- (1) この図は、紀の川水系栗野川の奈良県管理区間について、水防法の規定を準拠し、計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域は、公表時点の栗野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね1時間に最大77mm程度の大雨に伴う洪水により栗野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 奈良県県土マネジメント部河川整備課
- (2) 公表年月日 令和5年 月 日
- (3) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第3項を準拠
- (4) 対象となる河川
・紀の川水系栗野川（実施区間）
左岸 宇陀郡大宇陀町大字栗野字道徳前494番地先から津風呂川への合流点まで
右岸 宇陀郡大宇陀町大字栗野字道徳前694番地先から津風呂川への合流点まで
- (5) 算出の前提となる降雨
流域全体に48時間総雨量330mm、ピーク時の1時間に77mmの降雨がある場合
- (6) 関係市町村 宇陀市



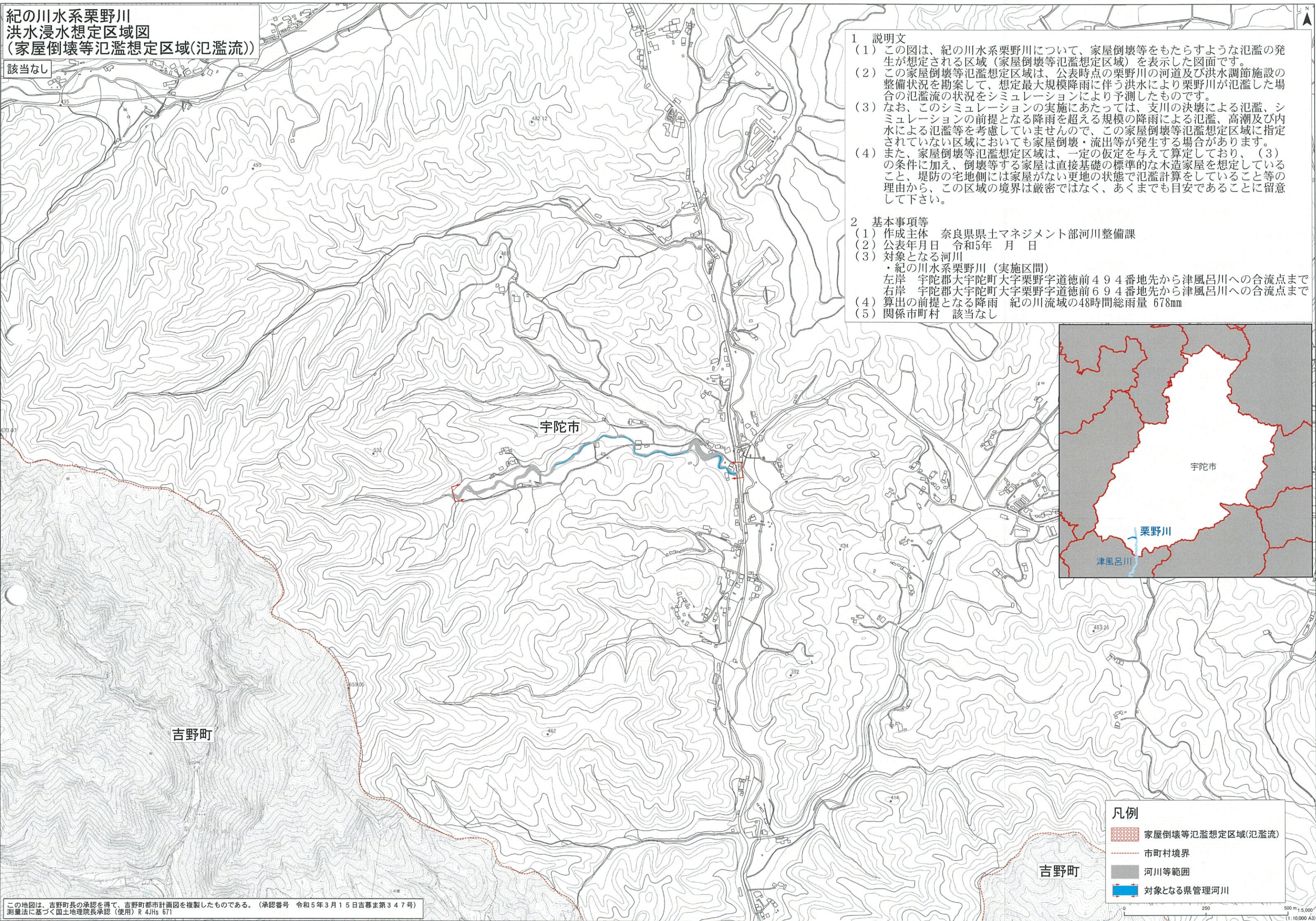
凡例

- 浸水した場合に想定される水深(ランク別)
- 3.0～5.0mの区域
- 0.5～3.0mの区域
- 0.5m未満の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 対象となる県管理河川

この地図は、吉野町長の承認を得て、吉野町都市計画図を複製したものである。(承認番号 令和5年3月15日吉暮第347号)
測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4JHs 671

紀の川水系栗野川
洪水浸水想定区域図
(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

該当なし



1 説明文

- (1) この図は、紀の川水系栗野川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
- (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の栗野川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により栗野川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
- (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 奈良県県土マネジメント部河川整備課
- (2) 公表年月日 令和5年 月 日
- (3) 対象となる河川
・紀の川水系栗野川(実施区間)
左岸 宇陀郡大宇陀町大字栗野字道徳前494番地先から津風呂川への合流点まで
右岸 宇陀郡大宇陀町大字栗野字道徳前694番地先から津風呂川への合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨 紀の川流域の48時間総雨量 678mm
- (5) 関係市町村 該当なし



凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 対象となる県管理河川

この地図は、吉野町長の承認を得て、吉野町都市計画図を複製したものである。(承認番号 令和5年3月15日吉専第347号)
測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4Jhs 671